

疫学情報 2017年2月28日分

<http://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/special/pandemic/topics/201702/550255.htm>

1

麻疹集団感染、医療機関の受診者からも陽性者

三重県多気郡内の工場で確認された麻疹の集団感染は、2月22日現在で陽性者が18人に上った。工場従業員が陽性と判明する前に受診していた医療機関では、3人の勤務者に加えて受診者からも2人の陽性者が出るなど、集団感染は新たな局面を迎えている。

2月22日現在、確認された麻疹患者は18人で、工場の従業員が13人、医療機関の関係者が5人だった。工場では、初発患者が確認されて以降、9日に9人、10日に1人、17日に1人と、それぞれ従業員から陽性者が出ていた。しかし、2月19日には工場従業員の家族1人にも感染が確認されている。また、2月10日以降は医療機関関係者が増えており、勤務者だけでなく受診者にも広がり、1~4歳の子どもも1人感染している。

県によると、当初は工場と医療機関との関連は不明だったが、その後の調査で、工場従業員が陽性と判明する前に、この医療機関を受診していたことが判明している。なお、これまでのところ全ての陽性者は、症状が軽いという。

麻疹陽性者(2/3~)

(2/22 10時現在)

NO	保健所管内	性別	年齢	主症状
1	松阪	女	10代	発熱・発疹
2	伊勢	女	20代	発熱・発疹・鼻汁
3	伊勢	男	20代	発熱・発疹・頭痛・喉痛
4	松阪	男	20代	発熱・頭痛・関節痛
5	松阪	男	40代	発熱・発疹・頭痛
6	松阪	男	20代	発熱・発疹・咳
7	松阪	男	30代	発熱・発疹・頭痛・関節痛
8	松阪	女	20代	発熱
9	伊勢	男	30代	発熱・発疹・目の充血
10	松阪	男	30代	発熱
11	松阪	女	30代	発熱・発疹・頭痛・リンパ節腫脹
12	松阪	男	30代	発熱・発疹・咳・関節痛・倦怠感
13	松阪	女	30代	発疹・倦怠感
14	松阪	女	50代	発熱・発疹・倦怠感
15	松阪	男	30代	発熱・発疹・倦怠感
16	伊賀	男	1~4歳	発熱
17	伊勢	男	30代	発熱
18	津	女	30代	発熱・発疹

受診者や家族にも陽性者が出ていることから同県は、引き続き患者の発生状況の把握に努

めるとともに、範囲を広げて接触者の健康観察を継続している。また県は、麻疹が疑われる場合は早めに医療機関を受診し、その際には必ず事前に医療機関に電話で麻疹疑いを連絡し、医療機関の指示に従うよう呼び掛けている。なお、子どもへの感染拡大を防ぐためにもワクチン接種は欠かせないことから、定期接種が済んでいない子どもは早めに接種するよう求めている。

<https://www.city.tachikawa.lg.jp/gakkokyushoku/0218.html>

立川市立小学校児童の嘔吐等の症状発生について（お詫び）平成 29 年 2 月 18 日

保護者・児童・市民の皆様へ

立川市教育委員会教育長 小町邦彦

この度は、保護者の皆様や何より児童の皆さんに辛い思いやご心配をおかけして誠に申し訳ございません。また、市民の皆様にもご心配をおかけしたことを、深くお詫びいたします。平成 29 年 2 月 17 日（金曜日）の給食時間以降、第九小学校、第十小学校、けやき台小学校、南砂小学校、若葉小学校、松中小学校、新生小学校の児童及び教職員 835 人（2 月 18 日午後 5 時現在）に嘔吐、腹痛等の症状が発生しています。学校給食共同調理場から当日提供した給食が原因の食中毒である疑いが生じました。

現在、原因を特定するために多摩立川保健所で検査をしているところです。この検査結果判明まで概ね 5 日間程度の日数が必要となります。そのため、児童の安全を第一に考え、緊急措置として 2 月 20 日（月曜日）～2 月 24 日（金曜日）までの 5 日間、学校給食共同調理場から提供している 13 校分（第八小学校、第九小学校、第十小学校、けやき台小学校、西砂小学校、南砂小学校、若葉小学校、幸小学校、松中小学校、大山小学校、柏小学校、上砂川小学校、新生小学校）の給食を停止させていただきます。

2 月 19 日（日曜日、正午現在）の状況

嘔吐、腹痛等の症状のあらわれている人数

第九小学校、第十小学校、けやき台小学校、南砂小学校、若葉小学校、松中小学校、新生小学校の児童 839 人、教職員 58 人で、合計 897 人です。なお、この数字は回復傾向にある児童・教職員の数も含まれています。

2 月 21 日（火曜日、正午現在）の状況

第九小学校、第十小学校、けやき台小学校、南砂小学校、若葉小学校、松中小学校、新生小学校の児童 970 人、教職員 77 人で、合計 1,047 人です。

なお、この数字は今回の件に起因しない病気等で同様の症状を訴えている児童・教職員および、回復傾向にある児童・教職員の数も含まれています。

<http://www.qlifepro.com/news/20170220/advisory-recommendations-on-immunization-recommendations-announced-in-2017.html>

（CDC）米国の予防接種ガイドラインが更新される

米国疾病管理予防センター（CDC）の予防接種諮問委員会（ACIP）は、米国の成人に推奨

される予防接種に関する 2017 年版の勧告を発表した。医師は毎年更新されるこの勧告に従い、患者に適した予防接種を実施する。報告の筆頭著者である David Kim 氏は、「重篤な疾患の感染、拡大を予防するため、誰もが予防接種を受ける必要がある」と述べている。

主な変更点として、まずインフルエンザの経鼻ワクチンが非推奨となった。注射ワクチンは死滅したウイルスを用いて作製されるのに対し、経鼻ワクチンは弱毒化ウイルスを用いて作製される。しかし、複数の研究で経鼻ワクチンにはほとんど効果がないことが明らかにされている。

また、卵アレルギーのある人でも、年齢に適したインフルエンザワクチンの摂取が可能となった。昨年までは重篤な卵アレルギーのある人は卵不使用のワクチンが推奨されていたが、新ガイドラインでは、腫れ、めまい、呼吸困難などの症状の出たことのある人でも、医療従事者の監視下であれば、あらゆる種類のインフルエンザワクチンを接種してもよいとされている。

ヒトパピローマウイルス (HPV) による子宮頸がんやその他の腫瘍を予防する HPV ワクチンは、9~14 歳で 1 回目、5 カ月以内に 2 回目の接種をすれば、3 回目の接種は不要となった。米国がん協会 (ACS) もこの新たな勧告を支持する声明を発表している。ただし、青年期まで未接種の場合は、従来通り 3 回の接種が推奨される。

HIV 陽性の成人には、新たに髄膜炎菌 4 価ワクチン (MenACWY) の 2 回接種が推奨されている。このワクチンは脳や脊髄の致命的な細菌感染の予防に有効である。

B 型肝炎ワクチンが有益とされる慢性肝疾患患者のリストに、新たに C 型肝炎感染者が追加された。このほか、肝硬変、脂肪性肝疾患、アルコール性肝疾患、自己免疫性肝炎、一部の肝酵素値上昇のみられる患者も B 型肝炎ワクチンの接種対象となっている。肥満の人でも肝臓に脂肪が溜まっている可能性が高いため、ワクチンを接種すべきだという。

ACIP によると、成人のワクチン接種率は十分とはいえないという。特にインフルエンザワクチンの接種率は低いが、慢性疾患患者、妊婦、高齢者には重要だと Kim 氏は指摘している。また、19 歳以上の Tdap (破傷風、ジフテリア、百日咳) ワクチンの接種率が 20% にとどまることも懸念事項だという。医療保険加入の有無が、ワクチン接種率に影響しているとも指摘されている。

<http://www.who.int/mediacentre/news/releases/2017/bacteria-antibiotics-needed/en/>

WHO publishes list of bacteria for which new antibiotics are urgently needed

27 February 2017 | GENEVA

WHO today published its first ever list of antibiotic-resistant "priority pathogens" – a catalogue of 12 families of bacteria that pose the greatest threat to human health.

WHO priority pathogens list for R&D of new antibiotics

Priority 1: CRITICAL

1. *Acinetobacter baumannii*, carbapenem-resistant

2. *Pseudomonas aeruginosa*, carbapenem-resistant
3. *Enterobacteriaceae*, carbapenem-resistant, ESBL-producing

Priority 2: HIGH

1. *Enterococcus faecium*, vancomycin-resistant
2. *Staphylococcus aureus*, methicillin-resistant, vancomycin-intermediate and resistant
3. *Helicobacter pylori*, clarithromycin-resistant
4. *Campylobacter* spp., fluoroquinolone-resistant
5. *Salmonellae*, fluoroquinolone-resistant
6. *Neisseria gonorrhoeae*, cephalosporin-resistant, fluoroquinolone-resistant

Priority 3: MEDIUM

1. *Streptococcus pneumoniae*, penicillin-non-susceptible
2. *Haemophilus influenzae*, ampicillin-resistant
3. *Shigella* spp., fluoroquinolone-resistant

